

県庁舎等再整備基本構想（素案）について

- 平成 30 年 8 月以降、元町山手地区再整備基本構想・基本計画検討委員会を開催し、耐震性や老朽化などの課題がある県庁舎及び県民会館等の再整備を中心とした元町山手地区のまちづくりの方向性について、様々なご意見・ご提案をいただいていた。
- これと並行して、県庁舎 1 号館、2 号館及び議場棟の耐震診断を実施した結果、防災拠点に求められる耐震性能（Is 値 0.9）を保有せず、公共施設として最低限必要な耐震性能（Is 値 0.6）も大きく下回ることが判明した。

このことから、県庁舎の耐震性能の確保を最優先課題として明確に打ち出すことが必要となった。
- このため、基本構想（素案）では、県庁舎の建替による耐震性能の確保を構想策定の第一の目的として明確に位置づけることとし、あわせて、県民会館をはじめとする県有施設等の老朽化対策、さらには元町駅から北側へのアクセス改善など県庁周辺地域のまちづくりの方向性についても示す内容としたい。
- ついては、基本構想（素案）の名称も、県として構想策定の趣旨をより明確にするため、「県庁舎等再整備基本構想」といたしたい。